平成22年度

山梨大学教育人間科学部附属中学校

中等教育研究会のご案内

昨年7月4日の「中等教育研究会」には，300名を上回る方々にご参加いただき，先生方から多くの貴重なご意見をいただき充実した機会となりました。本当にありがとうございました。

今回の公開研究会で3年研究も一区切りとなります。生徒が学習に主体的に取り組むための工夫や，新学習指導要領への対応などについて成果と課題をご報告させていただきます。

多くの先生方と研究授業と分科会を通して，新学習指導要領の完全実施に向けて共に学ばせていただきたいと考えております。お忙しいときとは存じますが，ぜひご参加下さい。

「かかわり」を生かした

学習課題・活動

教材・教具の開発

伝える

学習活動

交流

言語活動

発問の工夫

振り返りシート

学びの評価

^

研究テーマ　**知の再構成を目指して**　～「かかわり」を生かした学習過程の工夫～

【　研究のポイント　】

本校では，自ら主体的に学習に取り組む姿勢をつくるために，「真の理解に近づけさせること」「学ぶことの楽しさに気づかせること」が必要だと考えています。そのために，本校では「かかわり」（学習内容の関連性）をキーワードに，学習課題や学習活動の設定に取り組んできました。学んだことの意外な関連性を見つけたり，発展性を感じさせたりする課題や活動を設定することで，物事の本質に迫り，学ぶことの意義に気づく機会を積み重ねています。

もちろん新学習指導要領にも対応すべく，内容理解をはかり，今後求められる授業モデルを模索しています。

○「かかわり」を生かした課題・活動の設定

生徒の学びの意欲を引き出す学習課題・学習活動の設定です。学習内容の関連性（「かかわり」）について３つの観点から教材研究を行い，課題をつくりあげます。

○伝える学習活動

新学習指導要領の重点項目である「言語活動」への取り組みです。自分の考えを相手や目的，状況に応じて適切に発信できる機会を全教科で取り組みます。

○学びの評価

生徒の自己評価活動をすすめます。自らの学びをどのようにとらえるか，という客観的な判断を生徒自身ができるような評価の工夫を積み重ねています。もちろん，教師の評価方法の工夫にもつながります。

以上の３点について，研究をすすめています。

公開研究会では，全教科が研究授業・分科会を行います。授業をご覧いただき，今後の授業の在り方について県教育委員会や教育センター，山梨大学の先生方と共に話し合ってみませんか？

研究テーマ	知の再構成を目指して　～「かかわり」を生かした学習過程の工夫～
日時	平成22年10月23日（土）　9時～　15時30分
会場	山梨大学教育人間科学部附属中学校
参加費	無料 【配布資料】 実施要項・研究授業指導案集・年間指導計画（新学習指導要領対応）
申込方法	FAX・メールにてお申し込みを受け付けます。
申込・問い合わせ先	山梨大学教育人間科学部附属中学校　　研究主任　望月　陵 〒400－0005　山梨県甲府市北新1－4－2 TEL 055-220-8310　FAX 055-220-8784 Mail: mochizuki@yamanashi.ac.jp　　URL: http://fzkjhss.fzk.yamanashi.ac.jp/

＊<u>当日受付</u>いたします。授業のみ，分科会のみの参加も可能です。

ただし，資料に限りがございますので，できるだけ事前受付をお願いいたします。

○授業内容が確定しました○

国　語　科

２年「伝統的な言語文化」の授業に取り組みます。言語活動の「交流」を通して，「枕草子」を読みます。新学習指導要領のねらいにどこまで近づくことができるか？そして，これからの古典教育はどのようにあるべきか。考えてみませんか。
３年　「国際標準的な文章」と「日本的な文章」の両方の重要性について新聞のコラムを題材に考えます。その上で，これまでに取り組んできた「新聞を使った学習」と「論理の展開にかかわる学習」を生かしてコラムを書きます。

社　会　科　消費税UPは是か非か？

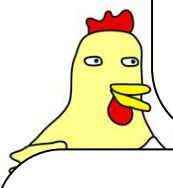
話題の「消費税」を取り上げ，パネルディスカションを通して，お互いの考えを深めます。
新学習指導要領で述べている「習得した知識を活用して，社会的事象について考えたことを説明させたり，自分の意見をまとめさせたりすることにより，思考力，判断力。表現力等を養います。

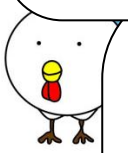
理　科　　化学変化とイオン

新学習指導要領で追加され、素朴概念を持ちにくいとされるイオン。本単元では、身近なスポーツドリンクをきっかけにイオンの導入を図りました。学習に必然性を持たせ、生徒たちの持つ素朴概念から立ち上げたイオン概念の形成はどうあるべきか提案します。

数　学　科

文部科学省から西村圭一先生，清水宏幸先生のお二人をお迎えします。また，「かかわり」に関して本校の礎を築いてくださった吉川行雄先生（早稲田大学教授）を迎えて，熱い分科会になりそうです。
研究授業では，資料の活用（１年），１次関数（２年）の２本行います。





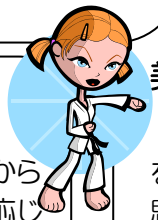
音　楽　科

自分のイメージにふさわしい歌をつくろう

文部科学省から大熊信彦教科調査官をお迎えして、創作の授業を提案させていただきます。言葉のもつリズム・抑揚と和音進行を手掛かりにしながら２ 部形式の歌をつくる活動を行います。２４年度学習指導要領の完全実施に向けて、創作の授業のあり方について参観者の方々と学び合う機会となるとよいと思っております。また、今回の研究授業は日本教育音楽協会の「平成２２年度学校教育現場における音楽教育研究活動の助成」に関する研究発表も兼ねております。

英　語　科　Yamanashi Travel Guide

山梨の観光案内を題材にロールプレイを行います。私たちが住む県の魅力を海外からの旅行客に伝えるとしたら…。１人１人が「おすすめ」を考えて発表します。相手に伝えることを意識して書いたり、話したりしているか？帯プログラムで行ってきたトレーニングは授業に活きているか？また、既習の知識を関わらせて、自分の伝えたいことを表現しているか？「かかわり」を意識した授業を提案します。



保健体育科　　柔　道

新学習指導要領において必修となる武道から「柔道」の授業を行います。相手の動きに応じた基本動作から技につなげるために，４つのステップを組んでいます。本時では，横受け身，小内刈りに取り組みます。

美　術　科　附中現代徒然草～形や色で、つれづれなるままに～

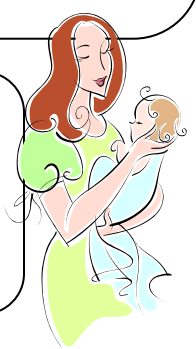
この題材は、生徒が日頃、感じていること考えていることをもとに、自分たちが生活している「日本」を意識しながら思うままに形や色彩、材料を選んで表現していくという、現代版徒然草の美術バージョンです。内容は生徒が各自発想したアイデアを意見交換する中で作品に対する思いを深めたり、国内外で評価の高い須田悦弘さんの作品を間近で鑑賞したりして制作に取り組んでいきます。

技　術　科　机引き出しをつくろう

のこぎりをペア学習によって習得していく。適切に工具を選択し，「かかわり」を生かしながら使い方を工夫し，正確に部品加工をおこなう。

家　庭　科　幼児の生活と家族

ゲストティーチャーに，子育て中のお母さんを招き，中２の生徒を前にミニ講演会を開きます。
新学習指導要領で重要視されている「家族・家庭と子どもの成長」の学習に提案します。



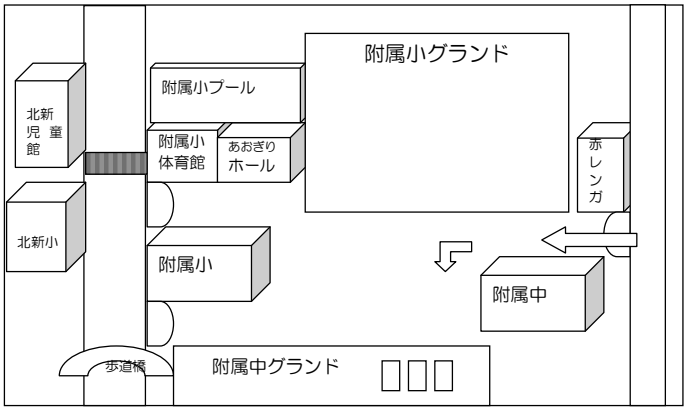
【 日 程 】

8:30～	受付	授業内容	授業者(授業会場)
9:00 ～ 9:45	全体会		
10:00 ～10:50	研究授業1	国語科　枕草子の時代と現代の四季を比べよう　(2年)	平井規夫(2－1)
		数学科　資料の活用～資料の散らばりと代表値～ (1年)	島口浩二(1－3)
		音楽科　自分のイメージにふさわしい歌をつくろう(3年)	成田幸代(音楽室)
		保健体育科　武道 ～柔道～ (2年)	飯塚誠吾(桐華館^)
		【以下の教科は70分授業です。】 10:00 ～ 11:10	
		理 科　化学変化とイオン (3年)	内藤波矢登(第一理科室)
		技術科　机引き出しを作ろう (1年)	山主公彦(技術科室)
	分科会	美術科　附中現代徒然草	小田切武 (美術室)
		～形や色でつれづれなるままに～(3年)	
11:05 ～11:55	研究授業2	国語科　新聞を生かしてコラムを書こう(3年)	中込幸雄(3－4)
		社会科　消費税 UP は是か非か (3年)	小林淳真(3－2)
		数学科　一次関数(2年)	櫻井順矢(2－4)
		英語科　Yamanashi Travel Guide	髙杉廣張(2－2)
		山梨の観光案内をしよう (2年)	
		家庭科　幼児の生活と家族	赤岡玲子 (家庭科室)
11:55 ～13:00		昼食・休憩	
13:00 ～15:30	分科会	各教科会場	

山梨大学教育人間科学部附属中学校　案内図

【 アクセス 】
JR甲府駅下車　20分(徒歩)
中央道昭和Cより　20分(車)
【 住所 】　〒400-0005　山梨県甲府市北新 1-4-2
TEL　055-220-8310　FAX 055-220-8784

＜駐車場＞



＊お車でお越しの際には、東門(赤レンガ側)から入っていただき、附属中グランドにお願いします。